

取扱説明書

Bluetoothステレオヘッドホン

型番：HP-WBT210Z-W/K/R 品番：03-1696/1697/1698



このたびは、AudioComm® Bluetoothステレオヘッドホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に發揮させ、安全にお使いいただくためにも、

ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ)本書のご提示がない場合
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご購入、ご購入後など本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetoothステレオヘッドホン			★お買い上げ日：	年	月	日
型番	HP-WBT210Z-W/K/R	品番	03-1696 03-1697 03-1698	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	ふりがな ★お名前			様			
	★ご住所 〒			—			
電話				()			

修理メモ

★住所 店名 電話
販売店
(印)

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)及びそれ以外の事業者に対するお客様(法律上の権利を制限するものではありません。)
- ※保証期間経過後の修理については弊社修理ご相談センターにお買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合があります。



株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8

http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは、お客様相談室へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
平日9：00～17：00
電話受付 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は、修理ご相談センターへ
048-992-3970 平日9：00～17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

目次

免責事項	1	ペアリングのしかた	9～10
安全上のご注意	1～3	オーディオコントロール機能	11
充電式電池について	3	電話着信時の操作	11
Bluetooth無線技術について	4～5	本機での操作・状態とインジケータ表示	12
各部の名称	6	LINE IN接続について	12
充電のしかた	7	故障かなと思ったら	13
装着の方法と折りたたみ方	8	主な仕様	14
電源のオン/オフ	8	お手入れのしかた	15
オート電源オフ機能	8	保証書とアフターサービスについて	15
		保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破損などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意が描かれています。)



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止が描かれています。)



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は、ACアダプターをコンセントから抜く、が描かれています。)

危険



接触禁止

充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない

- 本機には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されています。万一液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 万一液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

警告



禁止

- 運転中は本機及び携帯電話を使用しない。運転中に携帯電話の画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聴こえないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では本機を使わない
- 必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。
- 歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。



禁止

- 航空機内や医療機器の近くで使わない
- 電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。



接触禁止

- 雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない



22cm以上離す

- 心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す
- 電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



禁止

- 火の中に入れない。加熱しない
- 本機にはリチウムポリマー電池が内蔵されており、誤って火中に入ると、発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

- 付属の充電コード以外では充電しない
- 火災や感電、機器の故障の原因となります。



禁止

- 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。
- 絶対的に放置しない
- 高温になると、危険を防止するためリチウムポリマー電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。



使用禁止

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音が出るなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する
- そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。



禁止



使用禁止

- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、すぐに使用を中止する
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 販売店にご連絡ください。



禁止

- 本機や充電コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない
- コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機を分解、修理、改造しない
- 火災・感電の原因となります。



禁止

- 充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
- コードが破損して火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

 注意			
 水かけ禁止	水をかけたり、浴室など湿度の高い場所に放置しない ●故障の原因となります。	 禁止	充電コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。	 禁止	自動制御機器（自動ドアや火災報知器など）の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
 禁止	振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない ●落下してけがをする可能性があります。また、本機の破損・故障の原因となります。	 禁止	充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。
 禁止	本機をシンナーやベンジンなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。	 音量は小さく	長時間、大音量で聴き続けられない ●聴力障害などの原因となることがあります。 ●はじめから音量を上げすぎないでください。
 禁止	本機をカバンの中に入れたままにしない ●カバンに力が加わるなどして、変形したり、破損、故障の原因となることがあります。		 禁止
 使用禁止	本機を使用中に気分が悪くなったときは、ただちに使用を中止する		

充電式電池について

- 充電式電池(リチウムポリマー電池：本製品に内蔵)には寿命があり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。また、電池の交換はできません。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

Bluetooth無線技術について

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、近距離(最大約10m以内)であれば、どこにいても無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.4.1+EDR

【対応プロファイル】

- ・HSP(通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
- ・HFP(ハンズフリーで通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
- ・A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
- ・AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

●本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を持っていますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。 本製品は日本国内でのみ使用できます。

Bluetooth無線技術について(つづき)

使用周波数と注意事項

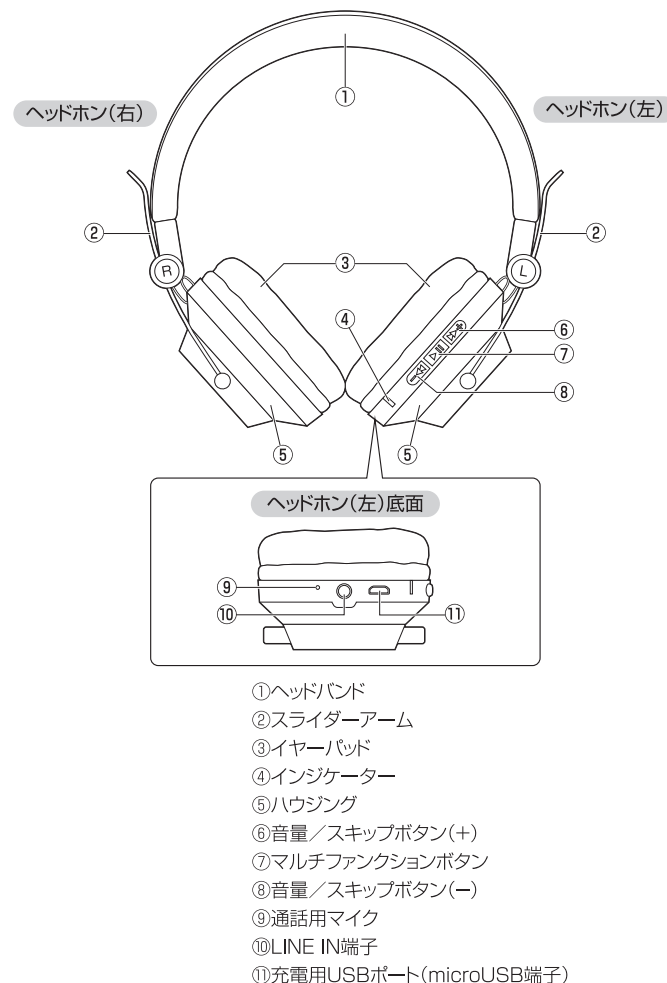
本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

医療機器の近くで使用する際は、特に注意してください

- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・ 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・ 病棟内では本機を使わない。
 - ・ ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・ その他、医療機関による使用制限・使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

各部の名称

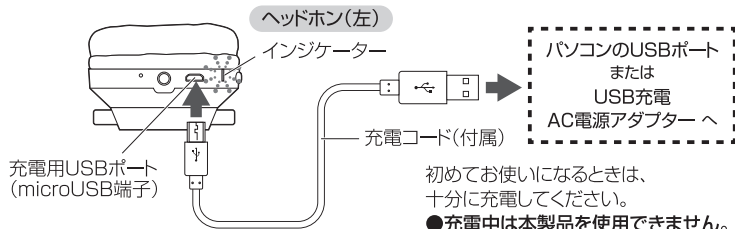


充電のしかた

充電用USBポート(microUSB端子)とパソコンのUSBポートを充電コード(付属)で接続します。充電が始まるとインジケータ(赤)が点灯し、フル充電になると消灯します。

※必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。

※家庭用コンセントで充電する場合は、充電コードのUSB端子をUSB充電AC電源アダプターに接続して行なってください。



初めてお使いになるときは、十分に充電してください。

●充電中は本製品を使用できません。

ヒントとご注意

- パソコン側のUSBポートについて／本機を充電するにはDC5V 500mAの電力が供給できるUSBポートに接続する必要があります。また、接続は付属の充電コードを使って、本機とパソコンを直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
- パソコンの省電力モードについて／接続中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください(省電力モードになったときは、本機のランプも消灯します)。
- 充電時間の目安／残量ゼロからフル充電までは約4.5時間かかります。十分に充電したにも関わらず、持続時間が半分程度になった場合は充電式電池の寿命と考えられます。
- 充電時の異常表示／動作保証温度(0℃～40℃)を超える環境下での充電や、充電式電池に問題が起きた場合、充電が完了していなくてもインジケータが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合はお買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 電池残量が少なくなると／インジケータ(赤)が速く点滅し、電子音が約10秒ごとに鳴りますので、早めに充電してください。そのままの状態が続くとしばらくして電源が切れます。
- 長期間使わなかったときは／充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
- 充電用USBポートには雨や汗などが浸入しないよう十分に注意してください。また、異物を入れないでください。

装着の方法と折りたたみ方

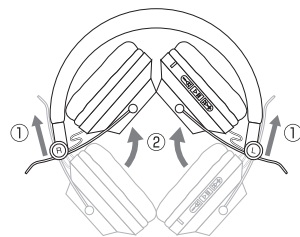
装着するとき

ハウジング部を広げ(①)、左右のスライダーアームを適度に伸ばして(②)両耳に装着してください。



折りたたむときは

伸ばしたスライダーアームを縮め(①)、内側に折りたたんでください(②)。



電源のオン／オフ

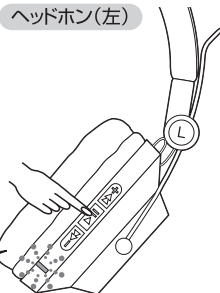
電源オン

マルチファンクションボタンを長押しすると、電源が入ります。インジケータがしばらく青く点灯した後、赤と青の交互点滅に変わり、サーチモード(接続する機器を探している状態)になります。

初めての機器と接続するときはペアリングが必要です。「ペアリングのしかた」を参照して操作してください。

電源が入ると電子音が流れます。

ヘッドホン(左)



電源オフ

電源が入っているときにマルチファンクションボタンを長押しすると、電源が切れます。電子音が流れた後、インジケータが消灯します。

オート電源オフ機能

サーチモード(インジケータ：赤と青の交互点滅)が約8分間続いたり、Bluetooth接続後、無操作状態(音楽再生などをしていない状態)が約8分間続くと、本機の電源は自動的に切れます。ただし、電源が切れるまでの時間は、状況により多少前後します。

ペアリングのしかた

ペアリングとは、Bluetooth機器(携帯電話やBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなどの音源側の機器)に本機を登録し、通信を確立する操作のことです。

初めて使うときは必ずペアリングを行なってください。

多くの機器の場合、一度登録するとそれ以降は自動で接続されます。機種によってその都度接続操作が必要な場合は、本機との接続を確立した後、音楽などの再生をお楽しみください。

- 1 本機の電源がオフになっていることを確認し、手元
に本機とBluetooth機器を用意します。

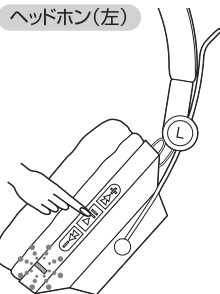
両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。

- 2 マルチファンクションボタンを長押しします。

電源が入りサーチモード(Bluetooth機器を探している状態)になります。

サーチモードでは、インジケーターが赤と青の交互点滅になります。

- 3 Bluetooth機器側で本機を登録してください。



本機を登録する

お使いのBluetooth機器側で本機の名称 **HP-WBT210Z** が表示されたら、それを選択して登録します。

パスキーやPINコードを求められた場合は **0000** と入力してください。

本機との接続が完了すると...

接続が完了すると、ヘッドホンから電子音が流れ、インジケーターが青の点滅に変わります。

ヒントとご注意

●対応プロファイル：

本機はBluetooth標準規格 Ver.4.1+EDR(プロファイル：HSP、HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択をする必要がある機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。

●お使いのBluetooth機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。

●本機と同時に接続できるのは、1つのBluetooth機器のみです。複数の機器があり、同時にBluetooth機能をオンにすると、最後に接続していた機器にペアリングされます(機種により異なる場合があります)。

●サーチモードが約8分間続くと、本機の電源は自動的に切れます。その場合は、最初からやり直してください。

●一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなかったり、正常に動作しなくなったときは、ペアリング操作を再度行なってください。

●ペアリング済みBluetooth機器の電源が入っている状態(Bluetooth機能も有効)で、本機の電源をオンにすると自動的に接続されます。

●Bluetooth機器のBluetooth機能がオフになっている場合は、本機の電源がオンの状態でも自動接続されません。Bluetooth機器側をオンにしたうえで、本機のマルチファンクションボタンを押すと接続されます。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone：

[設定]→[Bluetooth]

Android：

[設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]

[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]

NTT docomo：

[アプリ]→[設定]→[Bluetooth]

SoftBank：

[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

au：

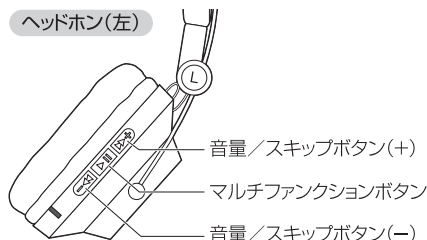
[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]

Windows Mobile：

[設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

オーディオコントロール機能



ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生/一時停止	本機の電源を切る
音量/スキップボタン(-)	音量を下げる	前の曲を再生
音量/スキップボタン(+)	音量を上げる	次の曲を再生

- 音量調節で最大、最小に達すると電子音が鳴ります。
- 音楽再生の機種により、操作が異なる場合があります。

電話着信時の操作

携帯電話など通話機能のあるBluetooth機器の場合、着信があると以下の操作が可能です。着信時に音楽などを聴いていたときは、通話を切ると通常の再生に戻ります。

ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	電話に出る/切る	着信拒否(着信中のみ)
音量/スキップボタン(-)	音量を下げる	音量をすばやく下げる
音量/スキップボタン(+)	音量を上げる	音量をすばやく上げる

- 着信があり、呼び出し音が鳴っている間は、相手の電話番号を英語で読み上げます。
 - お使いの機種によっては、携帯電話側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて音声聴きたい場合は本機スピーカーを選択してください。また、機種によっては、通話中の音量をゼロ(消音)まで下げられない場合があります。
- ※**着信音について**：携帯電話の機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後は携帯電話側から通常の着信音出力される場合などがあります。

本機での操作・状態とインジケータ表示

操作・状態	ボタン	インジケータ
充電中	—	赤く点灯 ※充電完了で消灯
電源オン	▶▶▶ 長押し	青く点灯 ※続いてサーチモードへ移行
サーチモード	—	赤/青 交互点滅
再生↔一時停止	▶▶▶ 押す	Bluetooth 接続中は 青く点滅
次の曲を再生	▶▶▶ 長押し	
前の曲を再生	◀◀◀ 長押し	
音量を上げる	▶▶▶ 押す ※最大時に電子音	
音量を下げる	◀◀◀ 押す ※最小時に電子音	
電話に出る(着信時)	▶▶▶ 押す	消灯
電話を切る(通話中)	▶▶▶ 押す	
着信を拒否(着信時)	▶▶▶ 長押し	
電源オフ	▶▶▶ 長押し	

▶▶▶ マルチファンクションボタン ▶▶▶ 音量/スキップボタン(+) ◀◀◀ 音量/スキップボタン(-)

- 携帯電話の機種によって、操作や動作などが異なる場合があります。
- 音楽再生中に電話に出たあと、通話を終了すると、自動で音楽再生に戻ります。ただし、携帯電話によっては再生操作が必要な場合もあります。

LINE IN接続について

Bluetoothに対応していない機器(ポータブルCDプレーヤーなど)の場合は、付属のφ3.5mmステレオミニプラグコードを使い、本機のLINE IN端子と相手機器のヘッドホン端子を接続することで、音楽などを楽しむことができます。

- LINE INで接続すると、本機の電源は自動で切れます。
- LINE IN接続中は、本機のBluetooth機能は使えません。また、本機での音量操作やスキップ(選曲)操作もできませんので、相手機器で行ってください。

ヘッドホン(左)



故障かなと思ったら

- 電源が入らない
 - ・十分に充電しましたか。

- ペアリングができない
 - ・Bluetooth機器の電源は入っていますか。
 - ・Bluetooth機器は本機のプロファイルに対応していますか。
 - ・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。

- Bluetooth接続ができない
 - ・本機及びBluetooth機器の電源は入っていますか。
 - ・Bluetooth機器が他の機器と通信していませんか。
 - ・Bluetooth機器がスリープ状態になっていませんか。
 - ・Bluetooth機器内で本機の登録が削除されていませんか。
 - ・LINE IN端子にφ3.5mmステレオミニプラグが接続されていませんか。

- 音が出ない
 - ・ペアリングは行いましたか。
 - ・本機またはBluetooth機器の音量が最小になっていませんか。

- ノイズやエコー音がする
 - ・Bluetooth機器との距離や音量を調整してみてください。
 - ・無線通信を阻害する電磁波(電子レンジなど)や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

- 充電できない
 - ・本機とパソコンまたはUSB充電AC電源アダプターが正しく接続されていますか。
 - ・付属品ではない充電コードを使用していませんか。
 - ・USBハブなどを經由して接続していませんか。
 - ・パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。

- Bluetoothにて接続中の携帯電話に着信があっても、本機が応答しない
 - ・携帯電話の設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていませんか。
 - ・一部の携帯電話では、Bluetooth使用に際して切替操作が必要なものがあります。携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

- LINE IN接続で音が出ない、音が小さい
 - ・φ3.5mmステレオミニプラグコードが双方の機器に正しく接続されていますか。
 - ・相手機器の音量設定が最小や消音、低めになっていませんか。

主な仕様

電源	DC5V(USB給電：microUSB入力端子)
内蔵電池	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 250mAh)
型式ドライバーユニット	密閉ダイナミック型／口径40mm
再生周波数帯域	20Hz～20,000Hz
実用最大出力	20mW+20mW
マイク指向特性	全指向性
充電時間	約4.5時間(残量ゼロからフル充電まで)
音楽再生可能時間	約6時間(音量中位)
通話可能時間	約8時間(音量中位)
待受可能時間	最大約15時間(ワイヤレス接続時)
許容動作温度	0～40℃
許容動作湿度	20～80%(結露なしにて)
質量	約142g
付属品	専用充電コード(約30cm)、φ3.5mmステレオミニプラグコード(約1.2m)、保証書付取扱説明書

●Bluetooth部	
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.1+EDR
対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP
出力	Class2
最大通信距離	見通し 約10m
使用周波数帯域	2.4000GHz～2.4835GHz
変調方式	GFSK
対応コーデック	SBC
伝送帯域(A2DP)	20Hz～20,000Hz(44.1kHzサンプリング時)

※充電時間、音楽再生可能時間、通話可能時間、待受可能時間、最大通信距離はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。
※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

お手入れのしかた ※必ず電源を切ってから行ってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。